

第5節 所得グループ別配分(DAC分類)

図表Ⅲ-19 二国間政府開発援助所得グループ別配分(DAC分類)

(暦年)	(支出純額ベース、単位:百万ドル、%)		
受取国グループ	2004年	2005年	2006年
L D C	914.9 (15.5)	1,311.2 (12.6)	1,139.4 (15.6)
L I C s	817.2 (13.8)	1,136.7 (10.9)	2,761.6 (37.8)
L M I C s	2,565.9 (43.4)	6,632.5 (63.7)	1,809.1 (24.7)
U M I C s	340.2 (5.8)	48.8 (0.5)	367.2 (5.0)
H I C s	0.2 (0.0)	5.2 (0.1)	4.6 (0.1)
分類不能	1,278.8 (21.6)	1,271.8 (12.2)	1,231.2 (16.8)
合 計	5,917.2(100.0)	10,406.2(100.0)	7,313.1(100.0)

(東欧および卒業国向け援助を除く)

*1 後発開発途上国(LDC:Least Developed Countries)。国連開発政策委員会(CDP:UN Committee for Development Policy)が設定した基準(下表)に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された国のこと。なお、LDCとしての認定には、当該国の同意を条件とする。

人 口	1999～2000年の 一人当たりGNI平均	HAI ^(※1)	EVI ^(※2)
7,500万人以上	750ドル以下	55未満	37超過

(※1) HAI(Human Asset Index):人的資源開発の程度を表すためにCDPが設定した指標で、①必要最低限量に占める一人当たり平均カロリー消費量の割合、②5歳以下乳幼児死亡率、③教育水準(成人識字率、中等教育就学率)を指標化したもの。

(※2) EVI(Economic Vulnerability Index):経済的な脆弱性を表すためにCDPが設定した指標で、①輸出集中度、②輸出による所得の不安定度、③農業生産の不安定度、④GDPに対する製造業・サービス業の比率、⑤人口規模を指標化したもの。

*2 低所得国(LICs:Low Income Countries)。2004年の国民一人当たりのGNIが825ドル以下の国・地域(世銀アトラスベース)。2006年実績では17か国・地域。

*3 低中所得国(LMICs:Lower Middle Income Countries)。2004年の国民一人当たりのGNIが826ドル以上3,255ドル以下の国・地域(世銀アトラスベース)。2006年実績では47か国・地域。

*4 高中所得国(UMICs:Upper Middle Income Countries)。2004年の国民一人当たりのGNIが3,256ドル以上1万65ドル以下の国・地域(世銀アトラスベース)。2006年実績では30か国・地域。

*5 高所得国(HICs:High Income Countries)。2004年の国民一人当たりのGNIが1万66ドル以上の国・地域(世銀アトラスベース)。2006年実績では1か国。

出典:世銀アトラス、2006年DAC議長報告

図表Ⅲ-20 日本がこれまでに政府開発援助を供与したことの国・地域一覧(2006年実績まで)

(1) 日本がこれまで二国間政府開発援助実績を有する国・地域数…187(うち国数165)

(2) 該当国・地域一覧

() 地域

東アジア	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、韓国、中国、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス、(香港)、(台湾)、(マカオ)	計17か国・地域(うち国数14)
南アジア	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ	計7か国・地域(うち国数7)
コーカサス地域・中央アジア	アゼルバイジャン、アルメニア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、グルジア、タジキスタン、トルクメニスタン	計8か国・地域(うち国数8)
アフリカ	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スーダン、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ共和国、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト、(レユニオン)、(セント・ヘレナ島)	計55か国・地域(うち国数53)
中東	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、アルジェリア、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、エジプト、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、バーレーン、モロッコ、ヨルダン、リビア、レバノン、(パレスチナ暫定自治政府)	計16か国・地域(うち国数15)
中南米	アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、セントルシア、チリ、ドミニカ国、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、パラグアイ、バルバドス、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ、(蘭領アンティル)、(ケイマン諸島)、(バミューダ)、(グアドループ)、(マルチニーク)、(仏領ギアナ)、(モントセラット)、(アルバ)	計41か国・地域(うち国数33)
大洋州	キリバス、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア、(ニューカレドニア)、(仏領ポリネシア)、(クック諸島)、(ニウエ)、(ワリス・フツナ)、(米領太平洋諸島)、(北マリアナ諸島)	計19か国・地域(うち国数12)
欧州	アルバニア、ウクライナ、エストニア、キプロス、ギリシャ、クロアチア、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボルトガル、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、マルタ、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、(ジブラルタル)	計24か国・地域(うち国数23)

*1 なお、2006年に日本が援助を行った国・地域数は、計167か国・地域(うち国数162:東欧諸国を含む)。

*2 地域区分は外務省分類。

*3 従来、外務省地域分類ではスーダンを中東地域としてきたが、今後の地域分類の見直しにおいて、スーダンをアフリカ地域とする予定であることから、本表2006年実績ではスーダンをアフリカ地域に含めて掲載している。

*4 ■ あみかけは東欧、旧ソ連および卒業国・地域を表し、先進国の一部と見なされたため受取国リストから除外された地域はイタリック体で表記した。

参考:日本が援助実績を有していない国・地域…8

[アジア] 北朝鮮、[アフリカ] マイヨット島、[中南米] アンギラ、タークス・カイコス諸島、
 フォークランド諸島、サンピエール・ミクロン島、英領ヴァージン諸島、[大洋州] トケラウ諸島